

あら、かわいい まちづくり新聞

発行：荒川五・六丁目防災まちづくりの会
編集：荒川区防災都市づくり部住まい街づくり課
(協力：株式会社地域計画連合)
題字：前森英世氏



通巻第74号 令和4年3月

防災まちづくり協議会を開催しました

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により活動を自粛していましたが、令和4年1月20日、約2年ぶりに「荒川五・六丁目防災まちづくりの会」の活動を再開しました。久しぶりの防災まちづくり協議会では、9名の委員の皆さまにご参加いただき、活発な意見交換が行われました。今回は、協議会での意見交換の様子や、当日の検討結果を中心にをご紹介します。

また、役員任期満了による改選を行いました。

今後も、地域の皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

協議会 当日の 議題

- ① 協議会の進め方
- ② 近年の活動の振り返り
- ③ 今後の取り組み内容の検討



当日は、議題①②を事務局から説明後、議題③「今後の取り組み内容の検討」を、2グループに分かれて意見交換を行いました。

意見交換の内容は中面に掲載しておりますので、ぜひご覧ください！



協議会の様子

一緒に活動するメンバーを募集します！

会員
募集中

荒川五・六丁目地区防災まちづくりの会では、一緒に活動するメンバーを募集しています。荒川五・六丁目にお住いの方で、

- ◎ 防災まちづくりに興味・関心がある
- ◎ 一緒にまちづくり活動をやってみたい

という方は、お気軽に裏面に記載の問合せ先までご連絡ください！

皆様のご参加お待ちしております。

協議会での検討結果「今後の取り組み内容」

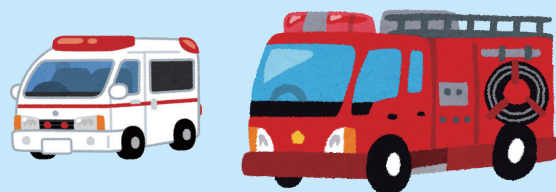
議題③「今後の取り組み内容の検討」での意見交換では、道路、公園・みどり、建物、防災、それぞれのジャンルで地区の課題と協議会の取り組みアイデアを皆さんに出してもらいました。今回の結果を踏まえ、今後の協議会で、実際に取り組む内容を考えていきたいと思えます。次回の協議会は令和4年度を予定しています。



道路

地区の課題等

- ▶道路が拡幅された場所であっても、電柱が拡幅前のまま残っていたり、物が置いてある箇所があり、車や歩行者の通行の妨げになっている。
- ▶幅員の狭い道路が多く、救急車や消防車等の緊急車両が円滑に進入できるか不安である。



今後の取り組みアイデア

- ◎まち歩きの実施
平成28年度にまち歩きを実施してから時間が経過しており、まちの状況も変化していると思われるため、改めてまち歩きを実施し、防災マップを更新できると良い。
- ◎道路に関する研究
道路の拡幅を推進する方策や、拡幅後の空間を有効利用するための方策など、他地区の事例も研究しながら、当地区での対応策を検討できると良い。

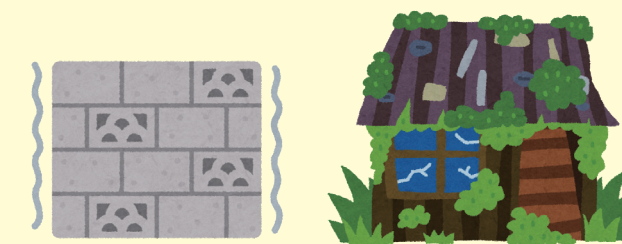
建物

地区の課題等

- ▶背の高いブロック塀や、老朽化したブロック塀の倒壊が心配である。
- ▶古い建物が建て詰まっている箇所があり、住環境としても、防災上も課題である。
- ▶空き家や管理不全の建物があり、防災上・防犯上心配である。

今後の取り組みアイデア

- ◎まちの状況確認
防災マップを活用し、地区内の危険なブロック塀や空き家の分布状況などを確認し、改善策の検討につなげられると良い。



公園・みどり

地区の課題等

- ▶防災スポット、グリーンスポットなどの広場に使いづらいところがある。
- ▶もっと広い公園があり、いろいろなことに活用できると良い。



荒川五丁目グリーンスポット

今後の取り組みアイデア

- ◎公園・広場を活用したイベント
防災設備を使ったイベントを実施できると良い。特に、若い人を始め地域の方が楽しみながら参加できるイベントになると良い。
- ◎公園活用方法の研究
地区周辺の公園も含めて、公園の活用方法について研究し、災害時に利用できるように事前に話し合いをしておけると良い。

防災

地区の課題等

- ▶地域の防災訓練に人が集まらない。
- ▶資器材の使用方法について、継続的に訓練を行う必要がある。
- ▶災害時の地区内の連携体制を構築しておく必要がある。

今後の取り組みアイデア

- ◎地震時・水害時に備えた検討
地震時と水害時の、それぞれの避難方法の検討及び確認が必要である。特に要支援者の方の避難や、災害時の情報収集について事例を含めて研究できると良い。
- ◎災害時の連携方法の検討
中高層マンションやスーパーとの災害時の協定など、災害時における地域での連携方策について、事例研究も含めて検討できると良い。



防災まちづくりに関する事業のご紹介

◎ 防災まちづくり事業に関する PR 動画を配信しています！

荒川区では、「燃えない・燃え広がらない」まちの実現を目指して、古い木造の住宅の建替えや解体等に関する各種支援（※）を行っています。このたび、地区の現状や課題、それを解決していくための区の取り組みや支援制度についてご紹介する PR 動画を作成しました。

PR 動画は、YouTube から検索の上、ご視聴ください。

町屋・尾久地区
防災まちづくりに
関する事業紹介

検索

※『不燃化特区支援制度』は、令和7年度までの制度です！

ご自宅の建替えや空き家となってしまった実家の解体などをお考えの方は、ぜひ荒川区までご相談ください。

支援制度の詳細は、荒川区ホームページをご覧ください。



◎ 支援制度の活用等について、お話を伺いました！

実際に『不燃化特区支援制度』を活用したお宅に、建替えを考えたきっかけなどについて、お話を伺いました。

- ご住所 荒川区西尾久五丁目
- 建替え
- 【前】木造2階建て 住宅+店舗
- ↓
- 【後】鉄骨造3階建て 住宅



従前



従後



建替えを考えた”きっかけ”は何ですか？

もともと住宅と店舗の2件が並んでおり、店舗部分は使っておらず、一方で駐車場は近所に借りているといのように、無駄が多い状況でした。
土地の有効活用と自宅周辺の木密地域改善に協力したい想いもあり、建替えを考え始めました。



支援制度はどのように活用されましたか？

専門家の派遣と、建替え助成（従前建物の解体費と従後建物の設計・監理費の助成）を受けました。
専門家派遣制度では、司法書士さんと建築士さんにご相談しました。特に、相続手続きには当初不安もありましたが、司法書士さんにご相談することで安心して進めることができました。



現在のお住まいでの暮らしはいかがでしょう？

これまでは地震による倒壊が心配でしたが、今はその心配もなく、将来、子どもが独立した後は部屋を広く使えるようにするなど、いろいろ考えて設計できたこともあり、とても気に入っています！



お話を聞かせていただき、ありがとうございました！

区に相談に行ったことで、様々な支援制度について知ることができ、うまく活用することができました！



荒川五・六丁目地区のまちづくりに関するお問合せやご意見は

荒川区 防災都市づくり部 住まい街づくり課 担当：高梨、保坂

電話：03-3802-3111（内線2828）

FAX：03-3802-4104